

# 《大仁中 全国学力・学習状況調査結果について》

4月17日に行われた、全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、本校生徒の概要をお知らせします。本校3年生の結果は以下のとおりです。

## 【学力調査（国語・数学・理科）から】

<b>国 語</b>	<p><b>〔特に良かった傾向〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章に即して漢字を正しく書いたり、語句の意味を理解し文章の中で適切に使う。</li> <li>○説明文の文章構成をとらえて内容を理解する。</li> <li>○小説の登場人物の言動から心情を読み取る。</li> </ul> <p><b>〔今後、いっそうの努力を必要とする内容〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●語彙を増やし、文脈に沿って適切に言葉を用いる。</li> <li>●読み取った内容について、自分の意見を適切に書く。</li> </ul>	<p><b>【そこで後は……】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎語彙を増やすよう、多くの文章に触れていきます！</li> <li>◎文章構成や言葉の選び方を意識して自分の意見を書く機会を増やします！</li> </ul>
<b>数 学</b>	<p><b>〔特に良かった傾向〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○数量関係を、方程式や不等式等で表すことができる。</li> <li>○等式の変形を行い、目的の数量を求めることができる。</li> <li>○計算力が身につけている。</li> <li>○展開図や投影図等立体を平面で表された図から、立体図形を想起し平面や辺の位置関係を把握することができる。</li> <li>○定理を理解し、それを拠り所として証明ができる。</li> <li>○必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる。</li> </ul> <p><b>〔今後、努力を必要とする内容〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関数分野で、一般式で表したり数量関係を推察したりすることはできるが、グラフ等で表されたものから前提となっている事柄を推察することを、やや苦手としている。</li> <li>●証明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる。</li> <li>●ほとんどの領域に於いて、県や全国の平均を上回っているがより確実なものとしたい。</li> </ul>	<p><b>【そこで後は……】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎なぜそのような方法で解いたり作図したりできるのかその理屈を確認しながら今後も学習を進めます！</li> <li>◎図形の学習では、証明された事柄を根拠に新たな事柄が存在していないかを確認しながら課題解決に臨みます！</li> <li>◎既習事項を確認しながら、新たな領域でも活用できないか、さらにそこからわかることはないか追究する意識を大切に育みます！</li> </ul>
<b>理 科</b>	<p><b>〔特に良かった傾向〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○光の性質や規則性について理解している。</li> <li>○無脊椎動物の体の造りの特徴を理解している。</li> <li>○結果から考察し、正しい条件を選んでいる。</li> <li>○表から正しい解答を選択できている。</li> <li>○電球とLEDの点灯の様子と電力との関係を理解している。</li> <li>○地震波と時間の関係を理解している。</li> </ul> <p><b>〔今後、努力を必要とする内容〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●質量パーセント濃度の計算を苦手としている。</li> <li>●風向の観測方法に関する知識を確認したい。</li> </ul>	<p><b>【そこで後は……】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎各単元の計算方法を、段階的に練習することで、確実に計算が身につくように学習を進めていきます！</li> <li>◎全員が実験道具に触れ、扱い方を体感的に理解できるように授業を設計します！</li> </ul>

平均正答率	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国（公立）	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
静岡県（公立）	78	63	68	49	68
大仁中学校	◎	◎	◎	◎	◎

全国の平均正答率に対しての大仁中学校の平均正答率を◎○△▲で示しています。

◎…たいへん高い ○…高い △…低い ▲…たいへん低い

- 国語Aと数学Aの主として「知識」に関する問題とは、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などです。
- 国語Bと数学Bの主として「活用」に関する問題とは、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関する内容です。
- 理科については、「知識」と「活用」に関する問題を一体的に問う内容になっています。

## 【学習状況調査から】

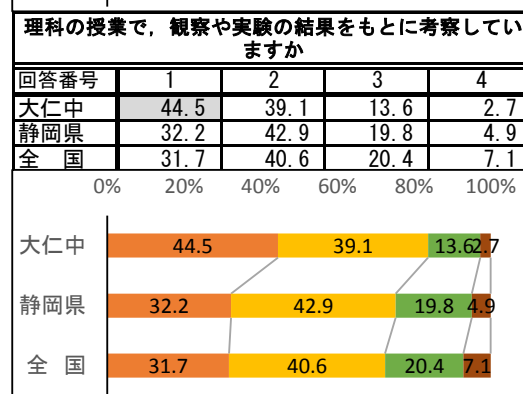
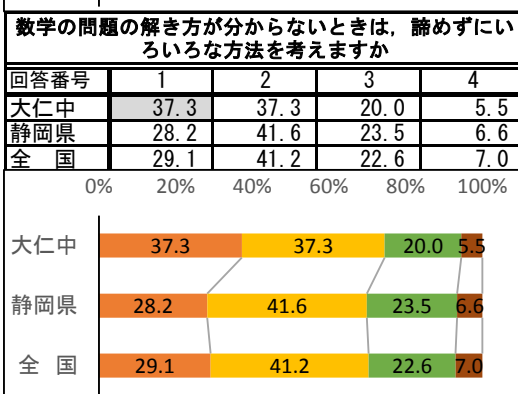
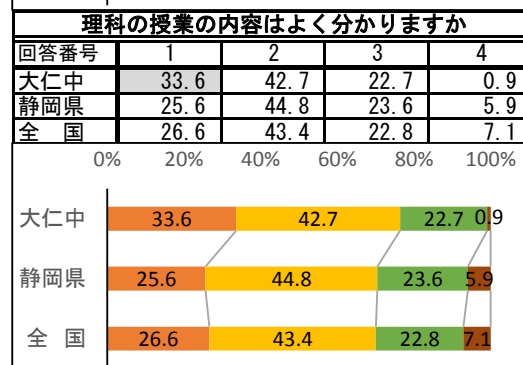
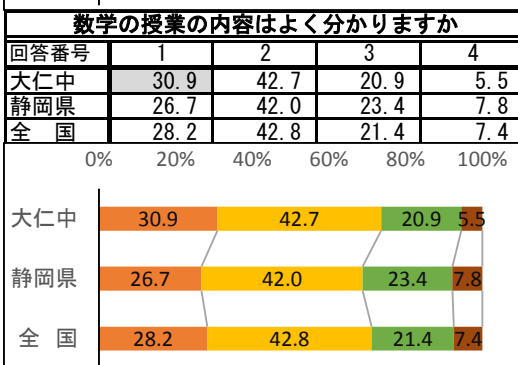
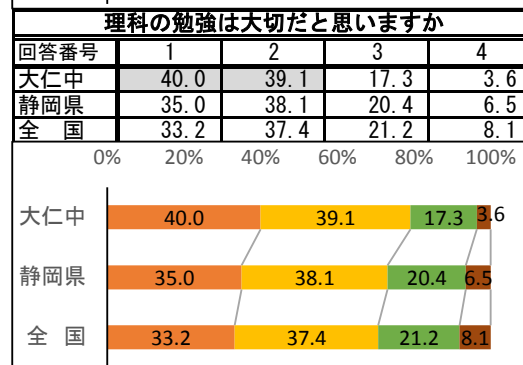
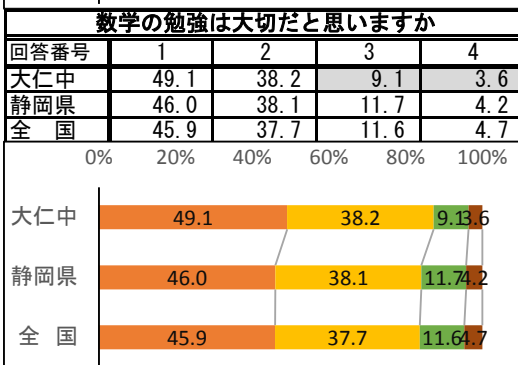
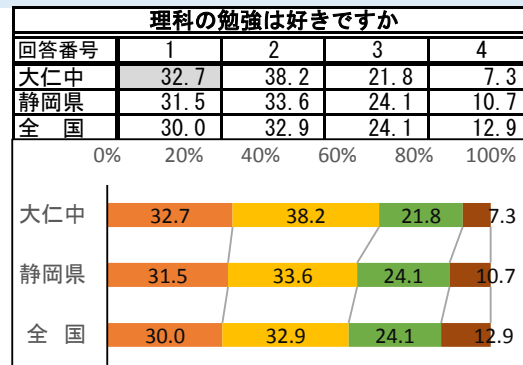
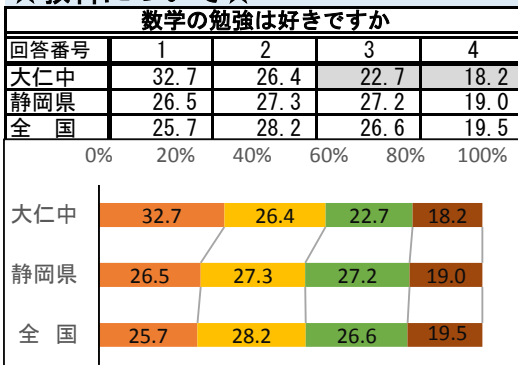
- 〔今後、学校では……〕**
- ◆学校の宿題をきちんと行っている生徒が多いので、今後も学習習慣をより定着させるため、家庭学習（予習や復習、定期テスト前の学習）の内容や方法を各教科で確認します。
  - ◆学校生活を楽しく過ごし、仲間と協力して何かをやり遂げることに喜びを感じる生徒が多いので、引き続き道徳をはじめとして全教育活動で心を育む指導をしていきます。
  - ◆自分の意見を仲間の前で発表したり書いたりする機会を増やし、表現力や聞く力を高める指導をしていきます。

## 【学習状況調査の質問紙回答より 本校と全国・県の状況との比較】

※回答番号について

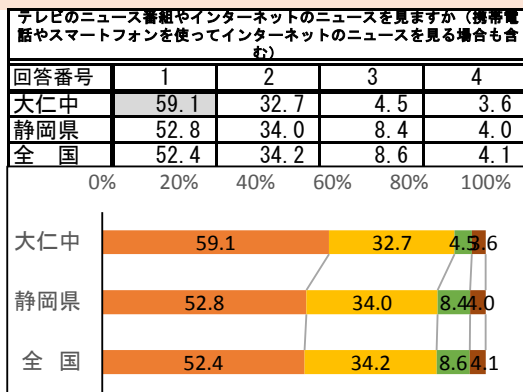
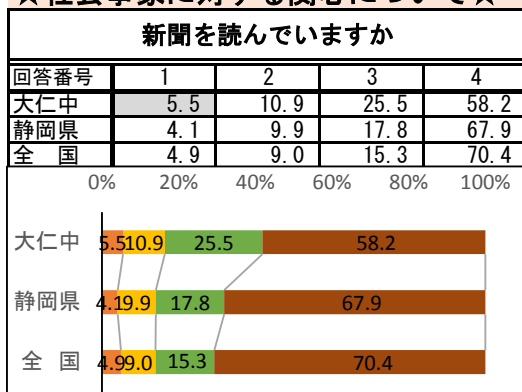
1…当てはまる 2…どちらかといえば当てはまる 3…どちらかといえば当てはまらない 4…当てはまらない

### ☆教科について☆



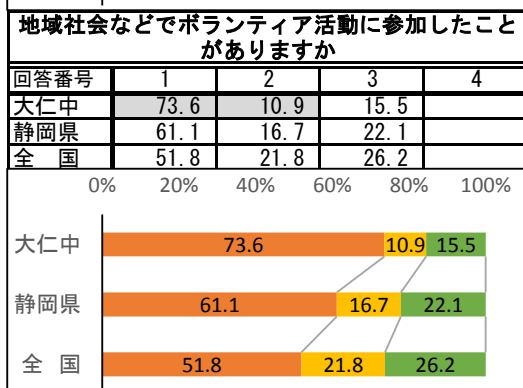
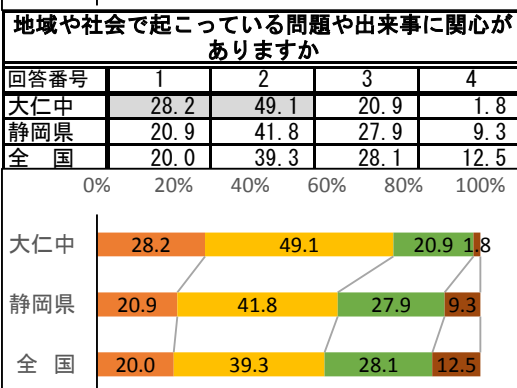
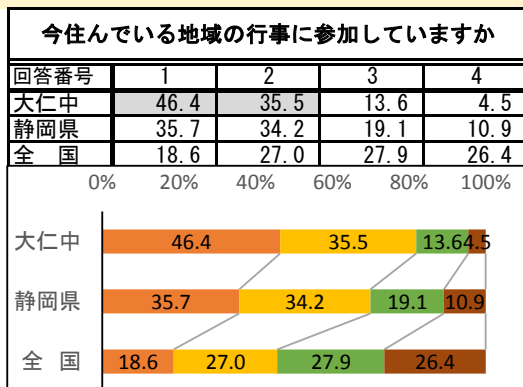
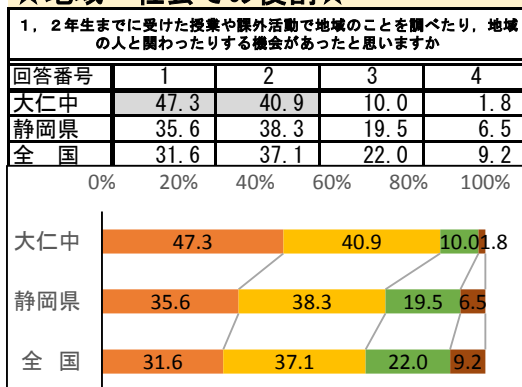
各教科に対する関心意欲や内容理解について、全国や県の結果を大幅に上回る傾向が見られます。国語ではやや語彙が少ない傾向が表れてはいるものの、読解力等は高いものがあります。数学や理科では、課題に対して、粘り強く取り組む姿勢が備わり、意欲的に授業に取り組んでいることが内容理解につながっていることがうかがえます。「なぜそうなるのか」、「何を根拠に考察がなされているのか」という思考を行う習慣が備わっているため、どの教科についても、学習内容を十分に理解しているという結果となりました。

## ☆社会事象に対する関心について☆



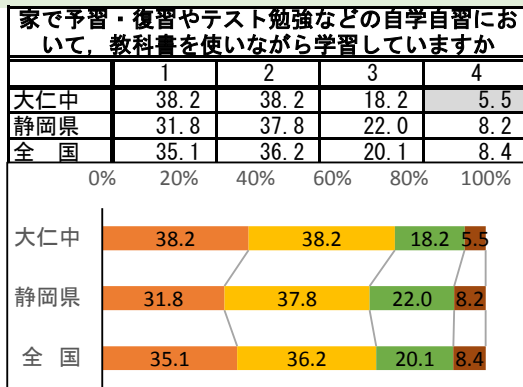
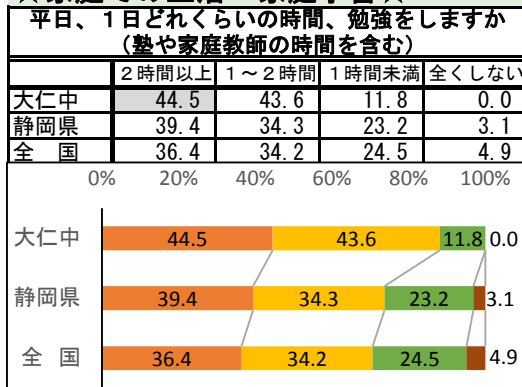
社会事象に対する関心が向上してきているように思われます。「今、身の回りでは何が起きているのか」、「社会生活を送る中で、自分はどのように判断し行動すべきか」等、1年生の時から育まれてきた道徳的な判断力や実践力が備わってきていると考えられます。

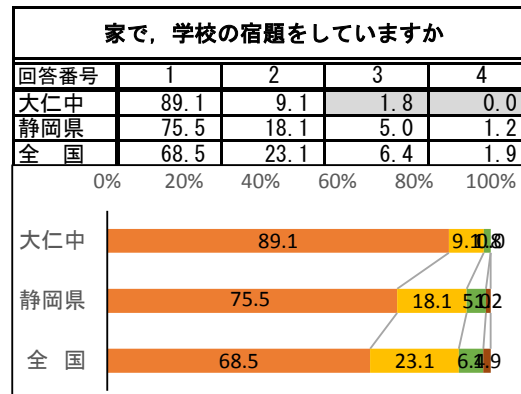
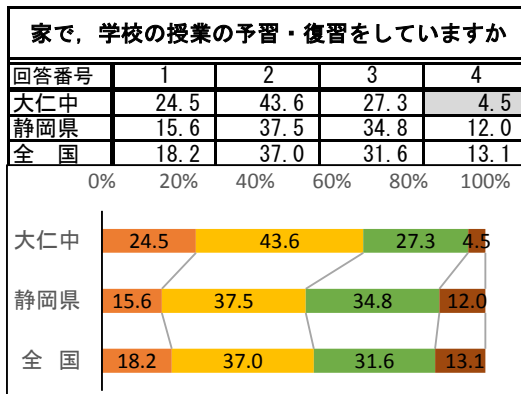
## ☆地域・社会での役割☆



昨年度同様、積極的に地域の行事に参加し社会の出来事に関心を持っている生徒が多い傾向にあります。これ以外の質問でも、地域や社会のことに高い関心をもっていることが分かりました。防災学習を行ってきた結果、地域の防災についても関心が高いと判断されます。中学生も地域のメンバーの一員として、これからも活躍してくれるとうれしいです。

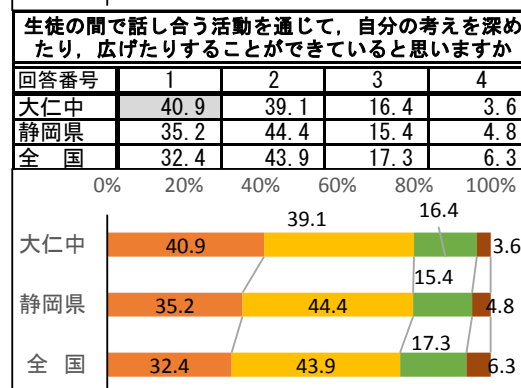
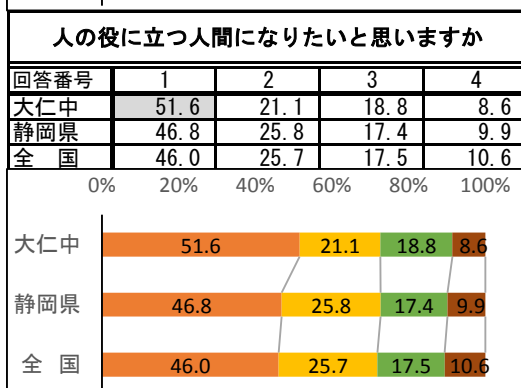
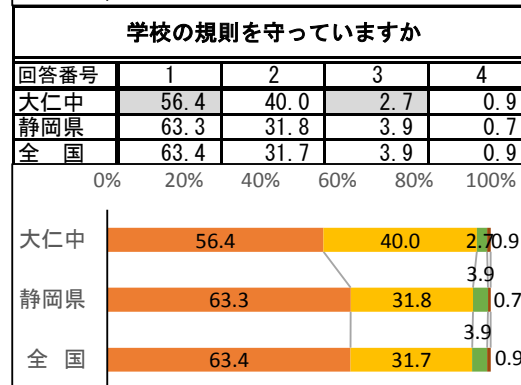
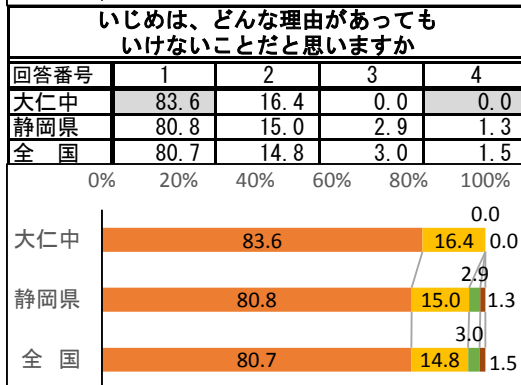
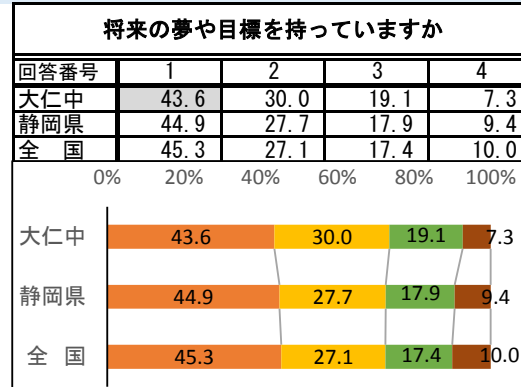
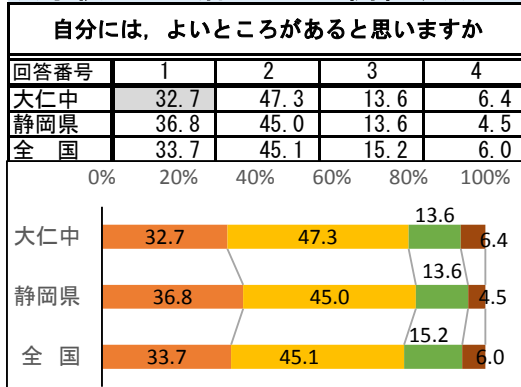
## ☆家庭での生活・家庭学習☆





家庭学習習慣が定着し、学習目標を意識した学習を心掛けている生徒が多いです。学習時間も、学年が進むにつれて増え、「やればできる」、「努力は裏切らない」という意識が備わってきています。この傾向は、県はもちろん全国と比較しても本校の生徒の意識が高く、学習に対しても自信をもって取り組んでいます。「自分はやった」、「これだけやったのだから」という自覚が自信につながっています。

## ☆学校での生活・人との関わり☆



「自分にはよいところがある」という項目では、7割を超える生徒が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えています。「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた生徒の多さとも関連しますが、日常生活の中での達成感やほめられた経験などが、自己肯定感につながっているのかも知れません。将来の夢や目標、役に立つ人間になりたいと思うことなど、自分の将来の姿を考える場面でも前向きな姿が見られます。学校生活の楽しさや、学校の規則を守ること、いじめはいけなないことだと考えることなどでも、「当てはまる」と答えた生徒が多く、毎日の生活や道徳の授業などを通して、相手を思いやる気持ちや仲間との協調性が育まれてきている結果と考えます。